



年頭あいさつ

2

会告

春季学術大会  
第57回定期総会

3

報告

理事会

4-13

報告

島根県原子力講演会  
2009

13

紹介

新理事就任あいさつ

14

*Relay Essay*

15

会費納入

【重要】

16

お知らせ

16

会報へのご意見・ご感想はメールで [shimane-art@go6.enjoy.ne.jp](mailto:shimane-art@go6.enjoy.ne.jp)  
社団法人 島根県放射線技師会 <http://ww6.enjoy.ne.jp/~shimane-art/>

[発行]

発行責任者：会長 小林 一郎  
社団法人島根県放射線技師会  
〒690-0046 島根県松江市乃木福富町733-43  
TEL：0852-32-2588 FAX：0852-32-2588

[製作]

製作責任者：広報部長 吉岡 隆二  
島根県立中央病院 放射線技術科  
〒693-8555 島根県出雲市姫原4-1-1  
TEL：0853-22-5111 FAX：0853-21-2975

社団法人島根県放射線技師会

会長 小林 一郎



新年あけましておめでとうございます。

皆様にとりまして、健康で夢と希望に満ちた素晴らしい年でありますよう、心からお祈り申し上げます。

“CSFRT2009in島根”のメインテーマ「温故知新、神話の國から未来へ発信」を掲げて、水の都そして城下町松江市で平成21年11月21日・11月22日の両日、中四国放射線技術フォーラム2009が開催され中国・四国から580名以上の参加登録を頂きました。会員皆様をはじめ多くの県民の皆様のご来場を賜り、日本放射線技師会中国・四国部会、日本放射線技師会中四国放射線技師会協議会並びに各協賛企業のご支援を頂き、盛会裏に終えることが出来たことを衷心より厚く御礼申しあげます。

“CSFRT2009in島根”ではイベント会社依頼を最小限にした手作りの学会運営の島根方式に各方面から“良かった”とお褒めの言葉を頂きました。運営についても今後のCSFRT開催の一つのお手本になる発信が島根からできたと思います。フォーラムをとおして若い会員が逞しく育っている印象を受け嬉しいかぎりでした。本学会の開催準備から企画・運営にわたり、勢力的に進めてこられた実行委員並びに会員皆様のご尽力にこころより感謝申しあげます。

昨年、米国のオバマ大統領の就任に始まり、まさに変化＝「Change」の年であったといえます。日本の政治も民主党への政権交代を経て様変わりしました。政策決定のスタイルの変化には目を見張るものがありますが「安全・安心な経済社会の構築」に期待しています。経済が発展するためには、国民一人一人が安全に、安心して暮らせることが大前提であります。すでに、我が国は少子高齢化社会を迎えており、これからはますます医療・福祉へのニーズが高まると予測されます。

長妻昭厚生労働相ら厚労省の政務三役は12月9日、10年度の診療報酬改定を巡り、「プラス改定を行うことが必要」とする見解をまとめました。今後プラス配分が中医協で集約され放射線検査、我々の給料にも影響して行きます。この中医協委員に厚生労働省は、10月26日付で同月1日に任期切れとなった中央社会保険医療協議会（中医協）委員の後任人事を発表し、日本放射線技師会 北村善明会長が専門委員として就任されました。これは今後のチームワーク医療に「Change」を期待する内容と思います。

第55回定期総会におきまして、(社)島根放射線技師会が新しい法人組織「新公益法人」移行を総意とすることをご承認を頂き、県の指導を受けて、速やかに監督官庁島根県へ移行申請出来る様にと作業を進めてまいりました。関連法案三法が2008年12月より施行され、その後内閣府から法案解釈に伴う指導が出されました。しかし、これらの難題に対処して行くには今の体制では非常に難しいと判断しました。全面的に行政書士、税理士に指導を仰いで申請の準備を進めて行きます。放射線の専門団体として、県民医療に貢献は必要と考えますので、ご理解をお願いいたします。

監督官庁島根県及び法務局への書類提出、そして事業展開を効率よく進めるために第57回定期総会は4月25日に開催します。本年も「Change」に努めて参りますので変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申しあげ年頭のご挨拶と致します。



# 会告



## 平成21年度 (社) 島根県放射線技師会春季学術大会のご案内

日時 平成22年3月14日 (日) 10:00~15:00  
 会場 松江市総合文化センター プラバホール2階大会議室  
 松江市西津田6-5-44 TEL0852-27-6000  
 内容 会員研究発表、講演会



春季学術大会の昼食は用意いたします。

学術大会の準備及び弁当数の把握のため出欠をお知らせください。

出席を予定される方は、施設または個人で総務部 (FAXまたはMailで) までご連絡頂きますようお願い申し上げます。3月5日(金)【必着】

駐車場は、プラバホール専用駐車場をご利用ください。

駐車場料金は会で負担いたします。

—総務部およびお問合せ先—

〒690-8506 島根県松江市母衣町200  
 松江赤十字病院 放射線科部内  
 社団法人島根県放射線技師会 総務部長 佐藤知子  
 Tel : 0852-24-2111 (内線 2724)  
 Fax : 0852-24-2125  
 E-Mail : sart60mrchoffice@yahoo.co.jp



## 平成22年度 第57回定期総会公示の予告



社団法人島根県放射線技師会第57回第定期総会を定款22条・23条に基づき下記のとおり開催いたします。詳細は次号会報に掲載いたします。

期日：平成22年4月25日 (日曜日)  
 開会：13:00 (講演会 11:00~)  
 会場：浜田医療センター



# 第1回 常務理事会

## 平成21年度 第1回 常務理事会Mail会議報告

【会議期間】 10日間（平成21年12月11日～平成21年12月21日）

【構成】 理事 小林一郎 岩崎一人 森脇郁生 佐藤知子 池田秀樹 大岡敏彦 原 真司 吉岡隆二  
山田和幸 加藤三千夫 本田雅人 原元益夫 杉原加誉子 左田野恵三 増野利政  
勝田和弘 遠藤 崇 中島清貴  
監事 野口悦現 磯田康範  
相談役 大屋俊男 小松明夫

### 【報告1】表彰について

- ①叙勲表彰に永瀬明男氏を推薦し、ご本人に受けて頂ける様にお話をしましたが、病氣療養中のために辞退されました。病氣回復を考慮しながら次回検討します。
- ②厚生大臣表彰に梶谷宗三氏を推薦し、ご本人の承諾がえられましたので島根県へ申請しました。
- ③日本放射線技師会勤続30年表彰に、坂本晴夫氏（松江赤十字病院）、安部英志氏（島根県立中央病院）、玉木忠夫氏（出雲市立総合医療センター）を推薦しました。

(1)財務部長 池田秀樹 (21.12.18 19:00)

各氏県会費未納はありません。

(2)副会長 岩崎一人 (21.12.15 16:00)

①了解

②県から厚労省に提出済み（県も返信待ちだそうです）政権交代の影響？

③了解

### 【報告2】生涯学習セミナー状況

平成22年1月17日、岡山県で開催されるCTセミナーに12月7日現在で179名の申込みがありました。120名を計画としていましたので達成率は149.2%です。

各県申込内訳

島根10、鳥取14、山口7、広島23、岡山76、愛媛6、香川11、高知6、兵庫3、静岡1、福岡1、非会員19

～岡山県から～

臨床第1講義室は250名まで詰めれば入りますが、ゆったりと受講いただくために定員を180名で打ち切りました。しかし、広報頂いた関係でどうしても受講したい方がおられましたら至急ご連絡下さい。また、当日は無料の駐車券を用意いたしておりますが、季節柄くれぐれも運転には御留意いただくよう会員の皆様にご連絡くださいますようお願い申し上げます。皆様のお越しをお待ち申し上げます。

当県で、役員の近くに希望者がおられましたら総務部まで至急お知らせ下さい。

(1)企画部長 本田雅人 (21.12.11)

報告会等を3月の学術大会等でお願ひします。

### 【報告3】線量測定器購入について

理事会決定により、平成21年9月に株式会社千代田テクノルから購入しました。

経費：合計 294,000円

内訳：アロカ株式会社電離箱サーベイメータ（ICS-321B）255,000円

アルミ収納ケース BX-113 25,000円 消費税 14,000円

\*了承

### 【報告4】会員動向

新入：乙部克文（おとべかつひこ）松江記念病院

新入：石倉涼一（いしくらりょういち）島根県立中央病院

新入：佐々木拓郎（ささきたくろう）島根県立中央病院

申請中：櫻井 玲（さくらいあきら）島根大学医学部附属病院

申請中：橋本知都（はしもとともみ）島根大学医学部附属病院

申請中：安部健治（あべけんじ）六日市病院

転入：山本哲也（やまもとてつや）神戸大学医学部附属病院→島根県立中央病院

(1)企画副部長 原元益夫 (21.12.14 17:00)

櫻井玲さんは、11月30日付けで退職しました。



## 第1回 常務理事会

(2)組織副部長 杉原加誉子 (21.12.20 10:20)

乙部克文はかつひこではなくよしふみです。

【報告5】日本放射線技師会会費滞納者に対する会員権利の一時損失の連絡

平成21年12月2日現在での島根県会員該当者28名

本人にもJARTから文章を送付されています。

\*了承

【報告6】放射線に関する講演会の実施について

日時 平成21年11月29日(日) 13:30~15:30

会場 くにびきメッセ国際会議場

講師 東嶋和子氏(科学ジャーナリスト)

演題 「こんなところにも?本当は身近な放射線」

島根県総務部消防防災課原子力安全対策室と、松江エネルギー研究会との共催、松江市との共催、島根県放射線技師会の協力で、身の回りの放射線に関する講演会を開催することとなりました。講演会では、実際に身の回りで放射線が利用されている事例を、実物や写真等で紹介するコーナーを設置しました。

島根県放射線技師会からは島根県立中央病院・吉岡隆二様、矢田俊介様、木邑和様、3名にご参加頂きました。当会制パネルを展示して頂いて、東嶋先生とインタビュー方式で、吉岡様は医療における放射線の利用について、木邑様は乳房検査について会場で説明されました。講演後は一般の方の質問を受け、放射線の安全な利用の理解を得られたと思います。

来年度は企画から参加して事業の一つとして進めたと思います。

(1)広報部長 吉岡隆二 (21.12.19 11:10)

参加人数は80~90名程度でした。色々な分野の展示があり参加された方も興味深く見ておられました。一般の方からも、「PET検査の費用は」や「受けられる施設は」などの質問もあり、今後もこのようなイベントでパネル展示をしていく必要があると感じました。

(2)厚生部長 加藤三千夫 (21.12.15 17:29)

県立中央病院 吉岡様、矢田様、木邑様、お疲れ様でした。

【報告7】JART理事会報告

PDFで送付します。確認をお願いします。

\*了承

【報告8】創立記念式典案内

広島県放射線技師会創立60周年記念式典の案内があり、小林が出席いたします。

日時 平成22年1月24日(日) 13:30~

会場 アステールプラザ、ウェルシティ広島

\*了承

【報告9】発送

①春季学術大会演題募集のお知らせ ②第57回定期総会のご案内

③社団法人島根県放射線技師会平成22年度会費請求のお願い

④ゆうちょ銀行用払込取扱票 ⑤過年度会費の請求について(お願い)【該当会員のみ】

⑥ゆうちょ銀行用払込取扱票【該当会員のみ】 ⑦賛助会員過年度会費請求について(お願い)

平成22年1月3日~5日に①~⑥の発送を予定しています。

池田財務部長様、12月20日頃のメ切でお知らせ下さい。

(1)財務部長 池田秀樹 (21.12.18 19:00)

会費未納者情報を近日中にお伝えします。12/18現在

【報告10】今後の発刊

会報、放射線島根、宜しく申し上げます。

(1)広報部長 吉岡隆二 (21.12.19 11:30)

会報257号は、1月下旬に発刊予定。

雑誌「放射線島根」は、年度内に発刊できるよう準備を進めております。



## 第1回 常務理事会

### 【議事1】平成21年度 春季学術大会について

平成20年度春季学術大会を3月に開催し、準備期間が少ないために4月には第56回定期総会のみ開催しました。その後の理事会で、定期総会時に例年とおりに講演会の開催を望む意見があり春季学術大会と定期総会を離し、準備を考慮して2月開催を考えていました。

松江赤十字病院は平成21年12月28日竣工、平成22年3月1日新診療棟での診療開始となり、十分に技師会の準備、対応が出来ない事が予想されます。松江赤十字病院の都合で申し訳ありませんが、平成22年3月14日(日)の開催を提案いたします。

#### <平成21年度春季学術大会>

開催日 平成22年3月14日(日)

開催地 東部地区(開催地順では西部地区ですが平成22年度と入替)

内容 会員研究発表・講演

開催地順では春季学術大会と平成22年度第57回定期総会が共に西部地区で重なるため、春季学術大会を平成22年度と入替をして東部地区開催とします。

\*原学術部長様、企画の検討をお願いします。

\*会場等の準備は総務で進めます。

#### (1)副会長 森脇郁生(21.12.11 14:00)

前年度平成21年3月8日(日)に済生会江津病院にて春季研修会を開催していますので順番としては東部地区でよろしいのではないかと思います。

#### (2)学術部長 原真司(21.12.11 23:00)

内容について、CSFRT2009で発表された方にもう一度、春季学術大会で発表までの裏話を含めての発表をお願いしたいと思っています。

例年午後に行っている講演は「中国と韓国の放射線技師」について鳥取県放射線技師会会長に講演を頂きたいと考えています。→小林会長、お願いできますでしょうか？

### 【議事2】平成22年度 第57回定期総会について

第56回のおり4月開催予定で進めいきます。

#### <平成22年度 第57回定期総会>

開催日 平成22年4月25日(日)

開催地 西部地区(開催地順)

内容 午前：講演会

午後：総会

\*山田事業部長様、準備を宜しく願います。

\*午前中の講演会で理事からの希望等がありましたらお知らせ下さい。

#### (1)企画部長 本田雅人(21.12.11)

新病院の浜田医療センターでの開催は如何でしょうか

#### (2)事業部長 山田和幸(21.12.11 15:50)

昨年と同様となりますが、当院での開催はいかがでしょうか？

当院開催の方が総会運営をおこないやすいと考えます。

(午前中の学術講演を公益事業として予算執行が必要等ありましたら、他の会場を探します。)

午前中の講演会ですが原学術部長のお考えをまず伺いたいと考えますが、如何でしょうか？

#### (3)学術部長 原真司(21.12.11 23:00)

モダリティメーカー様に、RSNAと横浜での国際医用画像総合展での最新情報の提供をしていただければどうでしょうか。

### 【議事3】公益社団法人移行について

第55回定期総会におきまして、(社)島根放射線技師会が新しい法人組織「新公益法人」移行に必要な3議案のご承認を頂き、県の指導を受けて、速やかに監督官庁島根県へ移行申請出来る様にと作業を進めてまいりました。関連法案三法が2008年12月より施行され、その後内閣府から法案解釈に伴う指導が出されました。

これらの難題に対処して行くには今の体制では非常に難しいと判断しました。全面的に行政書士、税理士に指導を仰いで申請の準備を進めて行きたいです。

経費は基金からの支出を考えています。放射線の専門団体として、県民医療に貢献は必要と考えますので、ご理解をお願いします。

近隣では広島県が11月に公益社団法人移行申請をされました。結果は4ヶ月~6ヶ月後になります。沖縄県は公益社団法人で申請をされましたが、結果は一般社団法人でした。



# 第1回 常務理事会

(1)財務部長 池田秀樹 (21.12.15 16:00)

新会計基準に則った会計処理は未習熟者には非常に困難です。  
費用はかかりますが公認会計士を入れられた方が良くと考えます。

(2)副会長 岩崎一人 (21.12.15 16:00)

「新公益法人」移行は対応している一人として、プロにお願いしなければ困難と判断しています(会長と同感)  
経費は基金からの支出も含め私からもお願いします

(3)事業副部長 勝田和弘 (21.12.11 23:00)

公益社団法人へ移行する目的は? 税制優遇があることくらいは解るのですが。  
勉強不足で申し訳ございません。教えてください。

(4)副会長 森脇郁生 (21.12.11 14:00)

沖縄県の一般社団は正直、ショックです。  
前準備はしっかり行う必要があると考えます。  
初年度だけでも広島県の例にならって行政書士、税理士の方をお願いするのがよいのではないかと思います。

(5)事業部長 山田和幸 (21.12.11 16:15)

沖縄県技師会が一般社団に変更された理由は? 興味ありますのでわかれば教えてください。

## 【議事4】公益事業展開について

放射線に関して県民医療に貢献し、公益社団法人移行を目指すために公益事業を新設して展開して行く必要があります。

理事皆様から今後の公益事業展開についてご意見をお聞かせ下さい。

(1)副会長 森脇郁生 (21.12.11 14:00)

レントゲン週間事業、ピンクリボン事業、生涯学習のための救命救急講習、看護実習等、開催できるように準備する必要があると思います。

準備期間は最低、半年前を考えた方がいいと思います。(できるものから)

(2)財務部長 池田秀樹 (21.12.19 19:00)

森脇副会長の提案に賛成します。

事業費率から考えると広報活動(雑誌・HP)も大きく公益費用に貢献できます。

(3)副会長 岩崎一人 (21.12.15 16:00)

自治体との共催事業を増やせないものか

松江市-松江市立病院-放射線技師-技師会

出雲市-出雲医療センター 同

大田市-大田市立病院 同

雲南市-雲南共存病院 同 etc

病院と地域のイベントに放射線関連をからめる

例えば、がん拠点病院主催の「がん市民公開講座」に共催出来ないか?

(4)事業副部長 勝田和弘 (21.12.11 23:00)

公益社団法人へ移行する目的が解っていない者が意見できませんが、各検査の被曝がどのくらいかを解りやすく示す必要があるのでは。

(5)企画部長 本田雅人 (21.12.11)

都市部での市民向けのパネル展や公開講座等の企画が必要でしょう

(6)広報部長 吉岡隆二 (21.12.19 11:35)

色々なイベントでのパネル展示になると思います。

(7)事業部長 山田和幸 (21.12.11 16:30)

森脇副会長と重複しますが、直接的事業として、検診(特に消化管や乳房)啓発活動の企画または他団体企画への協力が必要なのではないかと考えます。

また、県民医療のさらなる増進のために、医療技術向上を目的とした学術活動も技術学会と協力して行っていく必要があると考えます。

具体的活動としては、町や施設のイベントにパネル展示を頼み、会員を数名送り込むといった地道な活動をメインにおこなってはいかがでしょうか?

(8)学術部長 原 真司 (21.12.11 23:00)

なるべく皆さんの負担とならない方法で、なんとかありませんでしょうか。

## 【各部からの報告】

各部からご記入下さい。



## 第1回 常務理事会

(1) 副会長 岩崎一人 (21.12.15 16:00)

放射線管理委員会から

線量測定器購入頂きありがとうございました。

県中で保管しておりますが必要な会員さんは遠慮無く申し出下さい

(2) 企画部長 本田雅人 (21.12.11)

福利厚生が無くとも会員間が希薄となり、学術一本だと参加者がいつも限られると思います。

(3) 厚生部長 (ホームページ管理責任者) 加藤三千夫 (21.12.15 18:02)

無料のメーリングリスト「らくらく連絡網」<http://www.ra9.jp/> を見つけました。

参考までに。(現在の状況でもかまいませんが、使い勝手がよさそうな気が・・・)

ホームページは現在、年明けに大幅リニューアルオープン計画中です。

(4) 事業部長 山田和幸 (21.12.11 16:50)

平成21年10月20日～平成21年11月6日まで益田地域医療センター医師会病院でパネル展示をさせていただきました。

この期間中に「医師会まつり」の開催予定がありましたが、新型インフルエンザ流行期であったことから中止となりました。

しかし、施設来院者には好評で「検査内容がよくわかった」とのお声も頂きました。

当院院長より永久借用(笑)の希望を頂きましたが丁重にお断りしました(そのくらい気に入って頂きました)。

展示用パネル利用が空いている時期がありましたら、今後もイベントに関わらず展示させて頂こうと考えます。またパネルコピーのご許可を頂けるのであれば費用や作業一切を当院でおこない、パネル展示を恒常的におこなえるようにしたいとも考えますが、いかがでしょうか？

(5) 学術部長 原真司 (21.12.11 23:00)

学術部より・・・春季学術大会での会員発表の申込みをお待ちしております。

島根大学・原までご連絡ください

直通TEL 0853-20-2439 メールアドレス shinjih@med.shimane-u.ac.jp

### 【次回理事会開催】

提案 日時 平成21年1月9日又は16(土) 14:00～

会場 島根県立中央病院

## 第4回 理事会

### (社) 島根県放射線技師会 平成21年度 第4回理事会報告

日時 平成22年1月9日(土) 15:00～17:20

会場 島根県立中央病院放射線技術科職員控室

出席者 小林一郎、岩崎一人、森脇郁生、佐藤知子、池田秀樹、原真司、吉岡隆二、山田和幸、加藤三千夫、

本田雅人、原元益夫、杉原加誉子、左田野恵三、勝田和弘、遠藤崇、中島清貴 委任 大岡敏彦

出席、委任数から構成員の2/3を超えたので理事会が成立することを確認された。議事に先立ち、議長として森脇郁生氏が選出された。議事録署名人に杉原加誉子氏、中島清貴氏が、書記に佐藤知子が選任された。

#### 会長挨拶

小林会長：あけましておめでとうございます。昨年はフォーラム尽くしの一年でした。吉岡様大変お疲れ様でした。また、ありがとうございました。フォーラムでは私自身顔を知らないような若い方々も多く見受けられ驚くとともに、島根県放射線技師会の若い方々の台頭をうれしく思いました。

今年は、学会等の準備が一段落しておりますので、新公益法人移行関係に力を入れていきたいと思っておりますので皆様にはいろいろな面でご活躍していただくことになるとは思いますが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

#### 【報告1】第1回常務理事会Mail会議報告(別紙参照)

小林会長：平成21年度第1回常務理事会を平成21年12月11日～平成21年12月21日の10日間行いました。当初の予定より遅れましたことを、総務ともどもお詫び申し上げます。さらに会議のまとめが遅くなったことも併せてお詫び申し上げます。まとめにつきましては、皆さんにPC配信しています。

別紙を参照してください。

#### 【報告2】社名変更、事業部名変更(別紙参照)

小林会長：H22.1.1からタイコヘルスケア ジャパン株式会社から“コヴィディエン ジャパン株式会社”へ。

各関係部署での変更よろしくお願い致します。





## 第4回 理事会

### 【報告3】求人依頼要請（別紙参照）

小林会長：医療法人財団 公仁会 鹿島病院より12月18日に求人依頼あり、理事会承認後、HPに掲載予定である。山陰中央新報にはすでに掲載済みだが、理事会承認後に掲載したい。  
掲載後鹿島病院に報告します。  
全員：了承

### 【報告4】平成21年度特例民法法人概況調査（別紙参照）

総務部で対応しました。2009.12.21

### 【報告5】がん市民向け公開講座の後援依頼（別紙参照）

小林会長：松江市立病院から依頼あり。昨年のおり、後援を受諾しました。  
会報、HP掲載をお願いします。  
依頼団体 松江市立病院  
日時 平成22年2月20日(土) 13:30~16:00 会場 くにびきメッセ 国際会議場  
テーマ 化学療法と放射線治療について  
会報、HP掲載をお願いします。

### 【報告6】島根原子力講演会2009後援と活動に島根県からお礼状（別紙参照）

小林会長：11月29日にメッセで開催したものについて島根県総務部消防防災課長 井塚嗣夫氏からの礼状を頂きました。これをふまえて今年もよろしくお願いします。今年度は共催団体として参画し活動を続けたい。会報、放射線島根へ活動の掲載をお願いします。（写真は県から）

### 【報告7】毎日新聞企画特集シリーズへの協賛広告の依頼（別紙参照）

小林会長：毎日新聞企画特集シリーズ「地域医療を考える」『マンモグラフィーで乳がんの早期発見を』（仮題）への協賛広告のお願いがきました。会長会議で協議した結果、各県では対応せず、中四国放射線技師会協議会としての広告を出すことで対応した。

### 【報告8】日本医用画像管理学会JSMIMからセミナーの後援・協賛依頼について（別紙参照）

小林会長：セミナーの後援・協賛依頼は初めてである。会員の参加がしやすいように後援を受諾した。

### 【報告9】発送予定

小林会長：平成22年1月11~15日発送  
①春季学術大会演題募集のお知らせ ②第57回定期総会のご案内  
③社団法人島根県放射線技師会平成22年度会費請求のお願い ④ゆうちょ銀行用払込取扱票  
⑤過年度会費の請求について（お願い）【該当会員のみ】 ⑥ゆうちょ銀行用払込取扱票【該当会員のみ】  
⑦賛助会員過年度会費請求について（お願い）

森協議長：報告2から報告9まで質問は？

山田事業部長：ホームページの求人は理事会で承認してもらわないといけないか？何度かホームページ担当の加藤さんに直接お願いしたことがあったが。

小林会長：理事会決定が本来必要と考えるが、問題はスピードである。速やかに動くということで3役了承で承認されればホームページに掲載、その後理事会で報告という形でよいか？

全員：了承

森協議長：他に質問は？

原学術部長：報告8は具体的内容は？

小林会長：文章だけが送られてきた。今までは、日放技から送られてきたのだが、今回は直接送られてきたので苦慮した。他の県とも足並みをそろえなければならぬので相談したところ、後援すれば参加費が半分またはそれ以下になるので、協賛金を出したら6000円が2000円、後援したら6000円が3000円になる。後援すれば各県の皆様に周知徹底することは可能であるので後援をすることした。

吉岡広報部長：後援で人を出すわけではないか？

小林会長：うちでは出しませんと言ってある。むこうも了解済み。この内容で3000円は高いか？

原学術部長：高くはない。

山田事業部長：去年、広島で参加したが、内容は濃い。

小林会長：日放技のポイントが出るなら、なおさら後援しないといけない。ポイントは出たか？

山田事業部長：確か、日放技のポイントはもらったと思う。

小林会長：お金と人は出せないが、後援で会員の皆様の負担金が減額されるならば会としても積極的にしてもいいか

全員：了承



## 第4回 理事会

森脇議長：報告9について皆様に了承を得て、発送してよいか？

小林会長：去年とだいたい同じ内容である。

全員：了承。

【議事1】平成21年度 春季学術大会について

小林会長：議事1、2、3についてはメール会議の内容とも重複しているところがある。

開催日 平成22年3月14日(日) 開催時間 10:00~15:00 (予定)

会場 松江市総合文化センター 大会議室

9:00~17:00までおさえている。公開講演という言葉も入れますので、一般の方が来やすいように病院施設はやめてホールのほうでさせてもらう。原さんの方で内容をいただいているので以下のように載せています。

原学術部長：CSFRT2009で発表された方にもう一度、春季学術大会で発表までの研究している間の裏話を含めての発表をお願いしたいと思っている。

小林会長：CSFRTの裏話と春季学術大会は若い方の登竜門という意味合いもあるので、それも演題募集をかける。例年午後に行っている講演は「中国と韓国の放射線技師」について鳥取県放射線技師会会長に講演を頂きたいと考えている。岡村会長OKです。時間は考慮必要？この3本立てでよいか。

原学術部長：CSFRTで島根県から12題出ている。1、2題都合が悪くても2時間はもつ。

小林会長：山下さんのMRの件は？

岩崎副会長：他で発表したいということで、酌んでやってほしい。

小林会長：それは了解だが、MRの安全性のことは皆が聞きたいことである。また、検討を。

原：新人さんの発表の数が把握できないが、演題締め切りを一月くらいで締め切ってよいか？2月21日(日)で。最悪新人さんの発表がなくてもCSFRTの発表で時間はもつ。

岩崎さん、横幕と縦幕をお願いします。2年前に総会したところです。

池田財務部長：今回メーカーさんは？

原学術部長：なしです。弁当経費大丈夫ですか？手配、自分します。

小林会長：駐車場、弁当は会持ちにします。案内は葉書にします？葉書にすると結構返事が来るので検討しましょう

【議事2】平成22年度第57回定期総会関連

1. 議案集について

各部、部長を中心に総会議案集内容を検討して平成22年3月1日までに総務部へ提出をお願いします。

2. 進行(案) 総務部で対応

3. 総会準備 勤続20年表彰…総務部、厚生部で対応

4. 今後の予定

①(社)島根県放射線技師会監査

日時 平成22年4月3日(土) 13:00~ 会場 島根県立中央病院 放射線技術科職員控室

出席者 監事、会長、副会長、総務部長、財務部長理事

②平成22年度第1回理事会

日時 平成22年4月3日(土) 14:30~ 会場 島根県立中央病院 放射線技術科職員控室

内容 財務報告 議案集最終確認 第57回定期総会準備について

出席者 名誉会員、相談役、監事、理事、総会議事運営委員、議長、副議長

③第57回定期総会議案集を発送

期日 平成22年4月5日~9日

④平成22年度第57回定期総会・講演会

日時 平成22年4月25日(日) 講演会11:00~、総会13:00~ 会場 西部

⑤会報発行 3月もしくは4月の議案集発送時でいいでしょうか？

小林会長：平成22年度、定期総会関連について予定日はH22年4月25日 にしたいと思う。

場所は西部で、理事の山田さん・本田さんの方からご意見を頂いている。本田さんからは西部医療センター、山田さんからは医師会病院でと打診がある。4/25が空いていれば浜田医療センターでだめでしたら医師会病院で行うことにする。

春季の後、理事会を予定している。総会の場所が決まり次第、案内の印刷をかけます。4/25に総会決まったので、議案集の発行を4月の最初に行う。それに伴う、第1回の理事会と監査を4/3(土)に行う。池田さん、よろしくをお願いします。

池田財務部長：決算から3日しかないなので、間に合わないかもしれない。

小林会長：池田さんが間に合えば4/3に。間に合わなければメール会議で4/3-6にする。議案集の内容を検討していただいて3/1までに総務部にメールして下さい。進行と総会の準備等の原案は総務で作成し提示する。島根県放射線技師会の20年勤続表彰を総務部と厚生部で調整し準備を進める。会報の発行は間に合えば一緒にするので検討ください。

総会の前の講演会を以前はしませんでした。会員の皆様からあった方がいいということで、内容については原さんの方からモデルティーメーカー様に、RSNAと横浜での国際医用画像総合展での最新情報の提供をしていただくという提案をいただいたが、



## 第4回 理事会

他の理事からは提案なかったが、どうか？

原学術部長：自分が提案してひっくり返すが、サーベイメーターを県で購入したので取り扱い方をやったらどうか？

吉岡広報部長：西浜佐田のほうでそういう施設があるのでそこへ行ってはどうか？次に使いますか？

小林会長：サーベイはまたにしましょう。

岩崎副会長：西浜佐田町の施設は研修会に使えるくらい広いらしい。また使わせてもらいましょう。

小林会長：原さん、最初の提案でいけますか？講演会を11時から1時間、弁当休憩1時間で、総会を13時からでよろしいか？

全員：了承

### 【議事3】公益社団法人移行について

第55回定期総会におきまして、(社)島根放射線技師会が新しい法人組織「新公益法人」移行に必要な3議案のご承認を頂き、県の指導を受けて、速やかに監督官庁島根県へ移行申請出来る様にと作業を進めてまいりました。関連法案三法が2008年12月より施行され、その後内閣府から法案解釈に伴う指導が出されました。

これらの難題に対処して行くには今の体制では非常に難しいと判断しました。全面的に行政書士、税理士に指導を仰いで申請の準備を進めて行きたいです。

経費は基金からの支出を考えています。放射線の専門団体として、県民医療に貢献は必要と考えますので、ご理解をお願いいたします。

①新公益法人申請までのスケジュール 平成22年度中には申請を提出としたい

②担当税理士・行政書士

矢尾井 敏廣 氏 松江市学園二丁目18番27号 TEL 0852-26-1360

小林会長：総会で皆さんの総意を得て、新公益社団法人の移行に準備を進めていたが、島根県に限らずだが最初内閣府から出た指針では、これくらいなら自前で出来ると想定し対応したが、その後3回に渡って指針の改訂版が出ております。内容としては専門用語・要素が多く、普通の者では分からない部分も多くなってきた。緩和された部分として、事務所費はすべて事業費として入れてよいことになった。

去年の6月に、県との話し合いの中では放射線の専門団体であるので、当然公益社団法人の移行は

間違いのないと思われる。審査する委員会は別団体であるので、関係者は一切出席できないので委員会の中に放射線のことをよく知っている方がおられるかどうか分からないので、状況を作るためには内閣府の指針通りの準備が必要。

中国地方の中では広島県がトップで、最初は自前でやっておられたが、改訂版にしたがって進めていくうちに放射線技師(役員)自身ではできないということで、税理士・行政書士の指導を仰ぎながら昨年11月に県へ申請された。日放技

の方も事業計画について指導が出されていて、申請がいつになるかもわからない状態でこの県も苦慮されている。以前にも言ったが我々は病院での仕事がまず第一で、役員の皆様には理事の仕事をしていただいているが、それが重荷になっても困るので、費用がかかるが公益社団法人への移行は重要であるのでプロの指導を仰いで申請を進めていきたいと考えている。これについての皆様の意見と決定と、現在税理士と行政書士(やおいとしひろ氏)、松江の方ですが打診をし、指示をあおいでいるが、こういった方たちの中にも公益社団法人のことに詳しくない方もおられる。島根県でもやおいさんの他に名前があがってこない状況なので、この方のもとに進めいこうと思っている。この点についての皆様のご意見と、公益社団法人移行についてはきちんとした公益事業を掲げないと予算諸費がとれない。その予算諸費が全体の50%以上あるかないかが重要である。以前のメール会議の内容を踏まえて、来年度はこれに添った形で事業計画をしたいと思います。今までの議案集は“〇〇をする。××をする。”という形だったが、これではいけないということだ。

島根県放射線技師会ではこの事業をきちんとすると謳わないとそれに対して各部の協力体制をという格好にしないとだめなので、いただいた内容を吟味して来年度はその中からひとつの内容を掲げて公益事業として提供する形をとる。

森協議長：税理士費用はどれくらい？

小林会長：広島県が40万払っている。私としては30~40万は必要だろうと思っている。これは基金のほうから使わせてもらう。基金の250万はこのまま公益社団法人へは持っていけないので、最大でも年間予算の1/2までしか現金としては持っていけないので、技師会の年間予算が380万でその半分の190万なので60万は持っていけない形である。この60万を有効に使う一つの法策として公益法人移行に使わせていただきたいと。

森協議長：税理士・行政書士にお願いしようということについて意見は？

メールの中にもあったが、沖縄県のこともあるので我々だけの対処は難しいのではと思う。

小林会長：広島県が申請を出して返事が4、5ヶ月先だと聞いているので3月には返事を聞かれると思う。広島は県ともものすごく相談して申請したにもかかわらず、その後払ってないお金が沢山出てきたようで毎日のように県から呼び出しがかかっているようだ。沖縄県の方は、直接会長に聞くわけに行かず(公益社団法人がだめで一般にしたのか、最初から一般社団法人にしたのか)、内容がわからない。協議会の代表の熊代氏が沖縄県に対して把握の準備を進めているところ。この二つの問題があるが、自分としては島根県は公益社団法人を目指すので最初だめでも修正して5年間のうちになんとでも移行したいと思っている。

森協議長：大変厳しい内容だが、税理士・行政書士にお願いしても良いという方、挙手をお願いいたします。

全員：賛成

森協議長：決定ということでよろしくお願ひします。また、先ほど会長からありましたように事業内容についての話もこれから進めていかなければならない。22年度中という目標があるならば、しっかりした内容を決めていく必要がある。



## 第4回 理事会

これはできるという提案があれば提示していただきたい。メール会議での議事4について実現可能な項目があればお願いします。医師会祭りはレントゲン事業は全体的に係わっているか？

山田事業部長：日放技のような週間事業とは違うかもしれないが、広報活動の一環として捕らえていただければ、そのように言ってしまうかもしれませんが、パネル展示と骨密度測定をしている。技師が関わっているのこういう形で保護していただければいいのではと思う。

小林会長：山田さんに西部でこの活動についてお世話になっているが、レントゲン週間を日放技が11月の最初に決めているが、だいたいどの県も前後にはされている県がほとんどで、島根県は山田さんのところぐらいしかない。県民へのアピールのためにはレントゲン週間の確立が重要と考える。島根県放射線技師会の立派なパネルがあるのでまずあれを見ていただきたい。ピンクリボン事業も進めていきたい。杉原さんから提案をいただいている。

山田事業部長：去年テルサでピンクリボン運動されましたよね？

佐藤総務部長：当院主催でした。

山田事業部長：事業部に頼んだら一緒にしてもらえるか？

佐藤総務部長：出来ると思います。そこでパネルを貸してもらって展示すればいいかも。

小林会長：県でやっているか？

岩崎副会長：やっている。

山田事業部長：主催でやるのは難しいので、協賛とか共催という形で参画させていただいて、いけるところで小さいことから始めていければいいのではないかとやっているというアピールをしよう。

森脇議長：やはりある程度確立された事業に協賛や共催させてもらってやるのが、いいと思う。ゼロからやるのは大変

小林会長：レントゲン週間事業を目標にして受けたいと思う。原元さん、以前救急救命をやってもらったが2、3年後有効期限が切れるころに各地でしましようということになっていますが、出雲ではされましたがその後どうなっているか

原元企画副部長：今は途絶えている。

森脇議長：ADセミナーで実習が必要だった。更新がくるので引き続き更新しようといっていたが、それから途絶えてしまった。

小林会長：公益事業を展開するにあたって、使える活動ではないか？

山田事業部長：公益事業となると技師会員意外にもアピールしなければならないが。

小林会長：県民の医療に貢献するための自分たちのスキルアップみたいな。

山田事業部長：検査技師会とか理学療法士会に声をかけて一緒にすればいいかも。

吉岡広報部長：緊急被ばくの測定などのほうが消防署とはマッチしやすい。救命救急よりは測定などをした方が公益事業になりやすいと思う。

森脇議長：対象としては放射線技師をひとくくりとするのか？毎年、何回かやっておられますよね？

吉岡広報部長：消防署とタイアップする形でできたら。直接、我々のスキルアップという意味ではないです。

岩崎副会長：県の防災課にこういうことをしたいがどうか？ということ聞いてみれば、いろいろ話が出てくる可能性が高い。

小林会長：県に打診して、協力できることをあげてもらいますか？

森脇議長：防災課に公益事業として放射線技師会が協力できることはないかと打診してみる。

小林会長：防災課より返答がくればそれは各市町村にもおろせることなので、項目を挙げていただくといい。県が了承していることなので、話がしやすい。

森脇議長：ここではなかなか決まりませんので、一回持ち帰っていただいて検討してください。ピンクリボンの件も進んでやっていきたいので、いいアイデアがあれば併せて総務の方へメールしてください。

小林会長：公益事業かどうか分からないが、本田様からメール会議でいただいたのだが、会員の福利厚生がないと会員間が希薄となると意見があったが、自分も気になっている。よその県は野球大会等している。以前はゴルフ大会の結果などを放射線島根に載せていたが載せてはいけないという意見をいただいからは一切福利厚生事業を行っていない。どうでしょうか？よその県はいろいろしている。

森脇議長：したほうがいいと思います。

小林会長：かといって、やっても人が集まらなくて大変な思いをしたこともあるが。

森脇議長：各県の報告でも島根県だけが何もやっていないので・・・

小林会長：広島県は野球大会を家族参加でしたりしている。やはり会員間の顔が分かる、話ができるのが一番の目的である。このことは、せっかく本田さんが提示してくださったので検討し、来年度に組むことができればいいが。

本田企画部長：がイ付きで石見銀山観光などいかがでしょうか？

森脇議長：企画部長さんを中心に協力おねがいします。

## 【各部報告】

吉岡広報部長：冒頭会長のほうからもありましたが昨年はフォーラムの方で大変お世話になり有難うございました。参加者の人数等、別紙参照願います。島根県は119名の方に来ていただきました。懇親会のほうも多数の方々に参加していただき成功に終わりました。決算のほうはまだ完全ではありませんが赤字も出ずにすみましたので報告させていただきます。ありがとうございました。

続いて広報部からですが放射線島根の発行させていただきます。会員の皆様に原稿等、依頼しております。3月末の



## 第4回 理事会

発行を目指しているが出来上がるのは4月じゃないかと思っている。

森脇事業委員：生涯学習システムについては私も初めてのことで手探り状態で始めた。皆様にはご協力いただいております。皆様にはご協力いただいております。これを申し上げます。この場限りではなくて、こういうものはマニュアル化して残しておく必要があると思うので今度大きな大会があるときにはマニュアルを参照できるよう作成予定である。内容は読んでいただければ理解いただけると思う。イベント参加実績処理については吉岡さんに丸投げをしまして非常にご苦労なさったと聞いておりますが、スムーズにいきまして内容的にはよかったですと思います。ありがとうございました。

吉岡広報部長：参加者は580名くらいだったがイベント参加処理をされた方は250名もおられなかった。

森脇議長：されなかったのかやり方がわからなかったのか？

吉岡広報部長：PRが悪かったか、ポイントなんて関係ないよと言う方もおられる。処理自体には間違いはないと思います。

森脇議長：県とか会員の中で温度差があるのは仕方のないことだが、半分もないというのがさびしい話である。これからの反省点ですね。誰かひとりについておこうかという話も出たが、やり方の紙もPCに置いていたのでそこまでしなくても良いかということになった。

杉原組織副部長：自分がしばらくついていたが受付と離れていたの、受付したらそのまま会場へ向かう方が多かったです。PCのほうへ目も向けない感じだった。

小林会長：吉岡さん、この結果を会長会議で報告しておきます。以前は免許更新のこともあり、必ずされていたが近頃はやはり温度差が出てきて関心がないのも事実である。免許更新制度がなくなることは無いと考えているので（更新方法は変更なるかもしれないが）、更新の際は何らかの役に立つと思う。あとで、1ポイント足りなかったといってお金を払って更新などということがないように、利用できるときは利用してほしいと思う。会長会議で周知徹底してもらうよう報告しておきます。

原学術部長：春季学術大会で前回フォーラムで発表していただいた方にまたお願いしますが、抄録を出していただくのですが、一回フォーラムで出してもらっているのでもそれを使用します。

杉原組織副部長：鳥大の方に治療の新しい装置が入ったのでその見学会をさせてはどうですかという提案があった

小林会長：鳥取とのジョイントという形で鳥大でしていただくように、岡村会長に提案してみます。

山田事業部長：当院に技師が一人入りました。道下さんです。

小林会長：次回の理事会は平成22年3月14日15:30～ 松江総合文化センター 第2回常務理事会としていたが第5回理事会とします。よろしくお願ひします。

以上

## パネル展示

「島根県原子力講演会2009」に参加して

島根県立中央病院 吉岡隆二



平成21年11月29日（日）にくにびきメッセの国際会議場にて「島根県原子力講演会2009」（主催：島根県、共催：松江市、松江エネルギー研究会、協力：(社)島根県放射線技師会）が開催されました。

講演会では、「こんなところにも？本当は身近な放射線」という演題で科学ジャーナリストの東嶋和子氏が、身の回りにおける放射線や被ばくのことについてわかりやすくお話しされ、実際に放射線が工業や農業、食品や医療分野で利用されていることを紹介されました。

また会場内には、各分野で放射線を利用した製品や放射線の利用を写真等で紹介する展示コーナーが設置されました。

島根県放射線技師会からは、島根県立中央病院の吉岡隆二、木邑和、矢田俊介の3名が参加し、「新・放射線展用パネル」を用いて「医療分野における放射線利用」のコーナーを担当しました。

各コーナーの紹介では、講師の東嶋先生とインタビュー方式で、医療における放射線の利用を会場の皆様に紹介ならびに説明させていただきました。会場には女性もたくさん来られていたので乳房検査についても説明させていただきました。



## 就任あいさつ

(社) 島根県放射線技師会

新 事業副部長 勝 田 和 弘



このたび、(社) 島根県放射線技師会事業副部長に  
就任しました玉造厚生年金病院放射線室の勝田和弘です。

といいましても、もうすぐ1年になりますが・・・

成り行きとはいえ、技師会の理事を簡単に受けてしまいましたが、だんだんと不安になってきました。というのは、自分の住んでいる所は地域活動の盛んな、いわゆる田舎です。年を取るにつれていろんな役がまわってきます。消防団も11年間やっていました。最近では自治会、青年会、PTA、子供のスポ小など、忙しい日々を送ってしまして、こんな状況では理事の皆様、会員の皆様にご迷惑おかけするのではないかと思うようになってきたからです。でも、引き受けた以上そんな事考えていても仕方ないので、なんとか技師会のために頑張ろうと思っています。

最後になりましたが、今後とも皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(社) 島根県放射線技師会

新 総務副部長 中 島 清 貴



はじめまして。

私、総務部の副部長をさせていただいております中島清貴と申します。

松江赤十字病院に勤務して5年、ペーペーな日々を過ごしておりました。そんな折、小林会長に技師会の仕事をやってみないかと誘われ、安易な気持ちで了承したものの、総務部の副部長という大役にビックリ仰天。ですが、受けたからには、貴乃花ばりに技師会道に不惜身命を貫きたいと思えます。

そんな私の主な会務は二つあります。ひとつは、理事会などの議事録を作成することです。議事録は県に提出するもので、責任も重くかなりの時間を費やす仕事です。議事録の作成が待っているとパソコンの電源を入れるところから負けそうになり、いつも負けそうな気持ちや眠気と戦っています。かなりの確率で眠気に負けて、締め切り間際にえらい目にあいます。

もうひとつは県会員のみなさまの入退会、転入出、異動などの動向を追うことです。会員動向を追うといっても基本的には、本人様や理事の方から連絡があったときの事務手続きがメインです。今年度もあと少しですが、みなさまの職場で転勤や退職などはおられませんか？おられましたら、お近くの理事までお声をかけていただければ助かります。また、新卒者など新しく入社された方に技師会への入会を勧めいただければ幸いです。

こんな私が1年間大役を務められたのは、小林会長をはじめ、理事のみなさまのお力添えがあったからに他なりません。まだまだ経験も足りず会員のみなさまにはご迷惑をおかけすることが多々あると思いますが、精一杯がんばりますのでよろしく願いいたします。



## Relay Essay

島根大学医学部附属病院 放射線部 桜井 玲



そんな訳で、ご指名によりリレーエッセイを書かせていただいている桜井です。

四国の徳島県出身ですが、島根に来る前に“島根”で頭に浮かぶのは出雲大社でした。それ以外は、“そう言えば”松江があり、宍道湖があり、石見銀山に、隠岐でした。“どじょうすくい”までは思い至りませんでした。島根の皆様にとって“徳島”と聞いて頭に浮かぶのは、何でしょうか？ まずは阿波踊りでしょうか。それ以外に“そう言えば”にはなにがあるのでしょうか。“鳴門の渦潮”“板東英二”などがでたとしても、その次は20年くらい前の高校野球での池田高校くらいでしょうか。“そう言えば”では「徳島は島根に、完璧に負けたー！」と言ったところです。徳島が島根に勝てるのは、せいぜい「真冬でも雪は積もらへんよ〜」とか「神戸に1時間ちょっとでいけるんやでー！」とか地理的なものくらいです。

それにしても 出雲に来て驚いたことが 3つあります。

1つ目は それぞれのお家に雨戸がないことです。台風が来ても、中国山地を越えた後の日本海側だから、たいしたことはないのでしょうか。泥棒とか少ないのでしょうか。

ん〜、それにしても無用心のような気がしてなりません。島根県は皆様、ピリピリ、ギスギスせず、のんびりとした人柄なのだと思います。

2つ目は コンビニが少ないことです。徳島では、あっローソン。あっサークルKサンクス。あっファミマ。あつまたローソン。ってな感じで、至る所にコンビニが乱立し、探すのに苦労はしません。逆に、目障りなくらいです。島根県の皆様は、食事なども家庭できっちりと作られているから、需要自体が少ないのでしょうか。徳島にはご老人向けのコンビニもあります。便利といえば便利ですが、何もそこまで・・・という気がします。徳島の方は、たぶん性根が『ずぼら』なのでしょう。

3つ目は、ホームセンターが多いことです。ホームセンターが隣り合っていることなど、徳島では考えられません。何もお互いのお客さんを奪いあわなくても・・・と思いますが。島根の方は、ちょっとしたお家の手入れなどは、きっちりと自分でこまめにされているのだらうと感心させられますが、ひよっとしたら 時間が余っているのでしょうか？

とりとめのないことを書きましたが、放射線技師になる前には、大学院でコラーゲンやインテグリンなどの細胞接着について研究をしていました。細胞接着は再生医療には深いかかわりがあり重要視されていますが、放射線医学においては、放射線治療との接点はずかあるくらいで、放射線技師の仕事にはほとんど役に立たないことをしていました。

ここで、毎日おなじみの『骨』と『放射線技師』の関係を。

骨は、骨のもとになる軟骨が、破骨細胞によって溶かされたのちに、骨芽細胞が骨のもとになる「基質」を分泌し始めます。その「基質」に「ハイドロキシアパタイト（リン酸結晶）」が吸着して、骨を形成します。この基質成分の90%がコラーゲンなのです。

そういえば、骨転移マーカーにもI型コラーゲンが含まれたなあ・・・

コラーゲンと放射線技師はつながってたんだ！！

遠回りをしましたが 放射線技師としては新人ですので ご指導のほど よろしく願いいたします。

今回は、島根の初めての友達である「松江厚生年金病院の高井大輔技師」をお願いいたします。彼は、今回のリレーエッセイの件、二つ返事で快諾してくれました。バイクの似合う男前です。んちゃ、よろしくね、むかさん！！



# 会費納入

## ■ 平成22年度分 会費納入について

(社) 島根県放射線技師会年会費につきましては、**納入期間が平成22年2月1日～平成22年4月1日**となっております。会員の皆様におかれましては、期間内の納入にご協力頂きますようお願いいたします。

—お問合せ先—

〒692-0404 安来市広瀬町1931 安来市立病院 放射線技術室

社団法人島根県放射線技師会 財務部長 池田 秀樹

TEL : 0854-32-2121 E-Mail : nabeyaki@mx.miracle.ne.jp

# 今後の予定

## ■がん市民公開講座「化学療法と放射線治療について」(主催:松江市立病院)

日時 平成22年2月20日(土) 13:00~16:00

会場 くにびきメッセ 国際会議場

基調講演 「放射線と化学療法、上手く使ってより良いがん治療」

島根大学医学部放射線医学講座 教授 内田伸恵 先生

## ■第59回 島根画像診断研究会

開催日 平成22年2月26日(金) 19:00~20:30

開催会場 益田国際観光ホテル「島田屋」 2F 高砂の間 益田市本町3-15 TEL: 0856-22-0020

学術情報提供 「間質性肺炎マーカー KL-6」について

特別講演 「肺感染症の画像診断 —非感染症疾患との鑑別—」

大分大学医学部臨床医学系 放射線医学講座 講師 岡田文人 先生

## ■乳がん検診従事者講習会

開催日 平成22年3月13日(土) 13:00~17:00

開催会場 出雲医師会館 2F 大ホール 出雲市塩冶有原町2-19-3 Tel(0853)21-1131

参加されます会員は、**参加申込書により平成22年2月26日(金)までにFAXにてお申込み**いただきますようお願い申し上げます

## ■ 平成22年の予定

- 3月4~5日 第15回国際結核セミナー・世界結核デー記念セミナー (東京都)
- 3月14日 社団法人島根県放射線技師会春季学術大会 (松江市)
- 4月8~11日 第66回日本放射線技術学会総会学術大会 (横浜市)
- 4月25日 (社)島根県放射線技師会 第57回定期総会 (浜田市)

## 訃報のお知らせ

名誉会員 井上幹雄 先生(享年83歳)が平成21年9月29日にご逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表するとともにご冥福をお祈り申し上げます。

